

会長挨拶

内田 勝彦（大分県東部保健所）

本年4月から山中朋子先生の後任として本会会長を拝命いたしました大分県東部保健所の内田勝彦と申します。会員の皆様をはじめ全国の保健所職員の皆様がたが新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止にご尽力をいただいておりますことに対しまして、心から敬意と感謝を申し上げます。

京都府の廣畑弘会長には、お忙しい中、昨年度から本総会の準備をしていただきました。京都に集い総会が開催されるのを楽しみにしておりましたが、このような状況下であり、理事会にお諮りし今年度の総会議事は文書表決とさせていただきます。どうかご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、今年度の取り組みですが、短期的には新型コロナウイルス感染症に臨機応変に対応していく必要があります。また、中長期的にはこれまでも増しての保健所機能強化を図る必要があります。健康危機管理に関する委員会では、昨年度末から新型コロナウイルス感染症に関する課題を整理し、国への要望や意見の提出を精力的に行っていただいております。地域保健の充実強化に関する委員会では、包括ケアや受動喫煙対策の推進とともに、健康危機管理時に備えた人員確保も視野に入れた平時の保健所機能強化について検討をお願いしています。公衆衛生医師の確保と育成に関する委員会では、事業班と連携してサマーセミナーなどをオンライン開催するなど工夫を凝らし、社会医学系専門医制度についても影響が最小限となるよう検討いただいております。各担当理事会について、理事の皆様はお忙しい中ですがメールやオンラインを活用して例年どおりの事業を行っていただいております。

会員の皆様におかれましては、このような本会の活動に今後とも変わらぬご理解とご協力をいただきますようお願い申し上げます。新型コロナウイルス感染症が終息し皆様と一堂に会しての意見交換が早期にできることを祈念して総会開催にあたってのご挨拶といたします。